

## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# メンタリング・プログラムと企業 (2)

「組織の中でキャリアを歩む人は、その途上で遭遇する様々なキャリア上の課題に対し、  
“人との関係性”によって対処することができる。将来の幹部候補生としてのキャリアを  
順調に歩んでいる若者には、経験を積んだシニア・マネジャーによる支援が必要である。  
これ以上の出世が望めない段階（キャリア・プラトー）にさしかかった中年期の人は、同  
じような困難に直面している友人と経験を分かち合うことによって、組織人としての宿命  
をどのように受け止めていったらよいかを学ぶ。これまで女性があまり進出してこなかつ  
た仕事でキャリアを追求している女性の専門家は、先輩でより経験の深い女性と語り合う  
ことで自らのキャリアのモデルとなる生き方を見つけ心の安らぎを得る。定年退職を間近  
に控えた人は、自分より若くて経験の少ない、組織の今後を担う若者に自らの知識や経験  
を伝えることによって満足と尊厳の感覚を得る。」 — Kathy Kram, 1985 *Mentoring at*  
*Work* (渡辺・伊藤訳 2003「メンタリング：会社の中の発達支援関係」白桃書房) より

「私はデラウェアのすべての子どもに成功して欲しいと思っています。私たちの州デラ  
ウェアに住む学生・生徒・児童のうち、ある人たちは家庭において必要な励ましや注目を  
受けておりません。政府だけでなく、私たちデラウェアに住む人々は、それに対して何か  
ができます。私は、成熟した大人である皆さんにデラウェア中の学校や、危機的状況にあ  
る若者とともにあるメンターとなっただけ、私とともに活動していただくことを願  
いいたします。どうか、それを必要としている子どもたちのためにメンターとして、私の  
推進する運動に参加してください。」 — デラウェア州知事 トム・カーパー ([http://  
www.delawarementoring.org](http://www.delawarementoring.org))

「私はジェルミーの医者になりたいという気持ちを深めようとしてきました。昨年夏、

---

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクールの渡辺直登教授ならびにM24期生の中島薫、加藤強両君によって作  
成された。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶  
應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、  
e-mail case@kbs.keio.ac.jp）。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジ  
ネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートで  
の利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、こ  
れを禁ずる。

Copyright©2004 は渡辺直登、中島薫、加藤強が保有する。